

2025年度 早稲田大学大学院教育学研究科

博士後期課程 専門職業人入学試験問題 [小論文]

【教育基礎学専攻】

解答上の注意

1. 教育基礎学専攻の入学試験問題は、出願時に届け出た指導教員の欄に従い、下記の表の解答すべき問題を解答しなさい。

志願票に記入した研究指導名	志願票に記入した指導教員名	解答すべき問題・ページ
教育学研究指導	藤井 千春	設問 (P. 2)
教育学研究指導	三上 敦史	
教育学研究指導	坂倉 裕治	
教育学研究指導	根津 朋実	
教育学研究指導	菊地 栄治	
教育学研究指導	三尾 忠男	
教育学研究指導	鴨川 明子	
教育学研究指導	濱中 淳子	設問 1 (P. 3)
社会教育学研究指導	坂内 夏子	設問 2 (P. 3)
教育心理学研究指導	上淵 寿	設問 (P. 4)
教育心理学研究指導	堀 正士	
教育心理学研究指導	椎名 乾平	
教育心理学研究指導	本田 恵子	
教育心理学研究指導	安達 智子	
初等教育学研究指導	河村 茂雄	設問 1 (P. 5)
初等教育学研究指導	佐藤 隆之	
初等教育学研究指導	大泉 義一	

2. 解答用紙の所定欄に、研究指導名・指導教員名・受験番号・氏名を必ず記入すること。
3. 解答用紙が複数枚配付された場合、ホッチキスははずさないこと。また、無解答の解答用紙でも提出すること。
4. 問題用紙は「5枚」（本ページ含む）、解答用紙は「1枚」です。必ず枚数を確認すること。

以 上

2025年度 早稲田大学大学院 教育学研究科
博士後期課程 入学試験問題
専門職業人入試 科目名 小論文（教育基礎学専攻）

当問題は、以下の研究指導を志願する専門職業人を対象とする。

教育学研究指導（藤井千春）
教育学研究指導（三上敦史）
教育学研究指導（坂倉裕治）
教育学研究指導（根津朋実）
教育学研究指導（菊地栄治）
教育学研究指導（三尾忠男）
教育学研究指導（鴨川明子）

設問

文部科学省はホームページで、『「教師不足」に関する実態調査』（令和4年1月）を公表しました。より近年の動向も踏まえつつ、次の（1）（2）に答えなさい。

- （1） 「教師不足」の要因を複数挙げ、あわせてそれらの理由や背景を述べなさい。
- （2） （1）で挙げた諸要因に対する解決策を論じなさい。

2025年度 早稲田大学大学院 教育学研究科
博士後期課程 入学試験問題
専門職業人入試 科目名 小論文（教育基礎学専攻）

当問題は、以下の研究指導を志願する専門職業人を対象とする。

- 教育学研究指導（濱中淳子）
- 社会教育学研究指導（坂内夏子）

教育学研究指導（濱中淳子）志願者は「設問1」を、社会教育学研究指導（坂内夏子）志願者は「設問2」を回答しなさい。答えは、別紙解答用紙に、選択した設問の番号を付して記入しなさい。

設問1. 「よいリサーチクエスト」とは何か、自分自身の具体的な経験も含めながら、考えられる条件について論じなさい。

設問2. 憲法・教育基本法を受けて1949年6月10日に公布・施行された社会教育法のこれまでの40余件におよぶ改正のなかで、主だった「改正」に焦点をあて、社会教育法はどのように「改正」されてきたのか、論述しなさい。

次の【設問】は、以下の研究指導の志願者を対象とする、

教育心理学研究指導

安達智子、 上淵 寿、 椎名乾平、 堀 正士、 本田恵子
 解答は、別紙解答用紙に解答すること

【設問】

以下の表は、令和4年度の「公立学校教職員の人事行政状況調査について」の結果をまとめたものです。

表1～表3からわかることをまとめ、効果のある対策を提案するために、どのようにデータを集め、どのような分析を行うとよいのかについて、教育心理学の研究方法を用いて説明しなさい。

表1 精神疾患による休職者の学校種別状況（令和4年）

学校種	精神疾患患者数	割合
小学校	3,202名	0.77%
中学校	1,576名	0.68%
義務教育学校	25名	0.41%
高等学校	849名	0.49%
中等教育学校	15名	0.80%
特別支援学校	872名	0.96%
計	6,539名	0.71%

表2 病気休職者と精神疾患患者の性別による状況（令和4年）

	病気休職者数	割合	精神疾患患者数	割合
男性	3,355名	0.77%	2,619名	0.60%
女性	5,438名	1.12%	3,920名	0.81%
計	8,793名	0.96%	6,539名	0.71%

表3 職種別の休職者数と精神疾患患者数（令和4年）

	病気休職者数	割合	精神疾患患者数	割合
校長	51名	0.16%	19名	0.06%
副校長	154名	0.42%	104名	0.29%
主幹教諭等	165名	0.68%	116名	0.47%
教諭等	7,945名	1.04%	5,987名	0.78%
養護教諭等	277名	0.73%	167名	0.44%
その他	201名	0.86%	146名	0.62%
計	8,793名	0.96%	6,539名	0.71%

（引用元）文部科学省「令和4年度公立学校教職員の人事行政状況調査について」

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/jinji/1411820_00007.htm

2025 年度
早稲田大学大学院教育学研究科博士後期課程入学試験問題

専門職業人入試 科目名 小論文（教育基礎学専攻）

次の【設問】は、以下の研究指導の志願者を対象とする。

初等教育学研究指導

(河村茂雄) (大泉義一) (佐藤隆之)

- 設問 1 令和4年に12年ぶりに生徒指導に関する基本書である生徒指導提要が改訂された。この改訂のポイントの一つに「積極的な生徒指導の充実」があり、成長を促す指導等として「発達支持的生徒指導」、「課題未然防止教育」があげられている。あなたならそれぞれどのような工夫をして取り組んでいくのかを、関わっている学校種の児童生徒・学生の発達段階や実態を踏まえて、具体的な例をあげて説明しなさい。

